

経営比較分析表（令和6年度決算）

長野県地方独立行政法人長野県立病院機構 信州医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	25	対象	ド透I未訓	救臨感輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	23,670	非該当	非該当	10:1

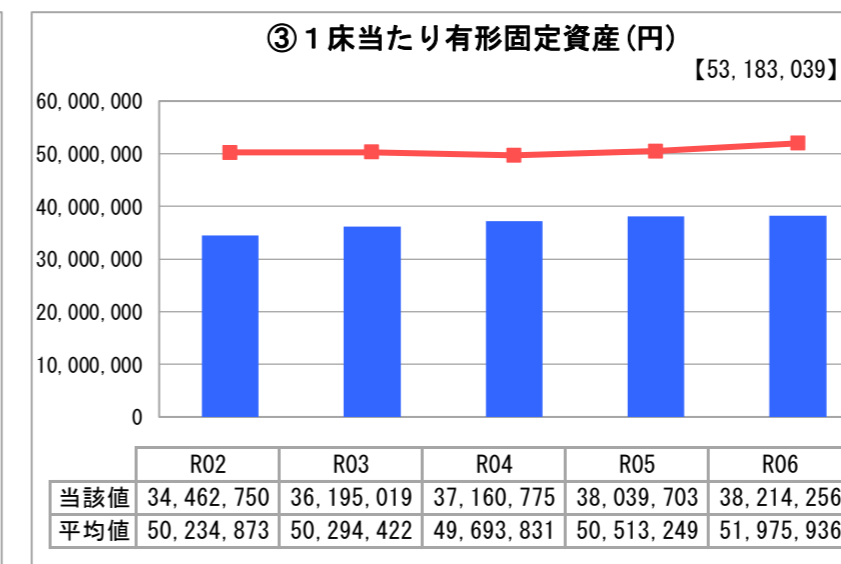
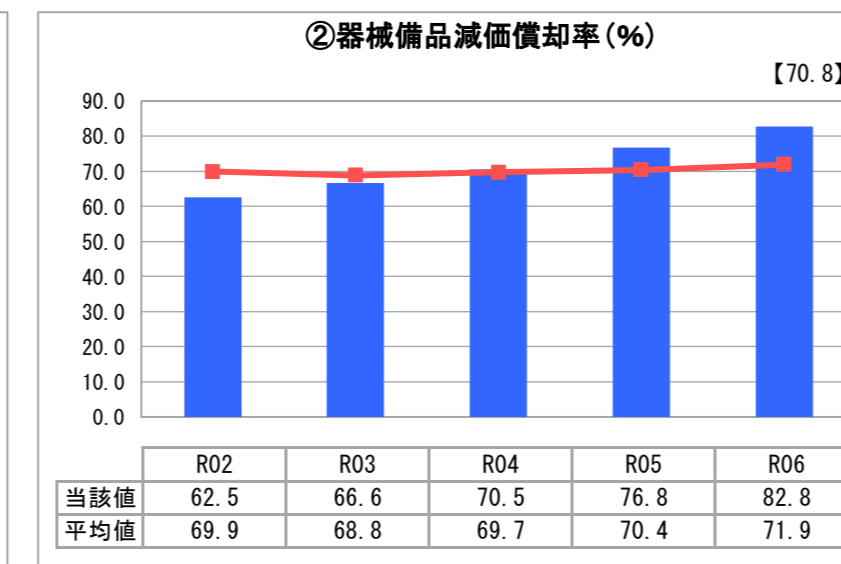
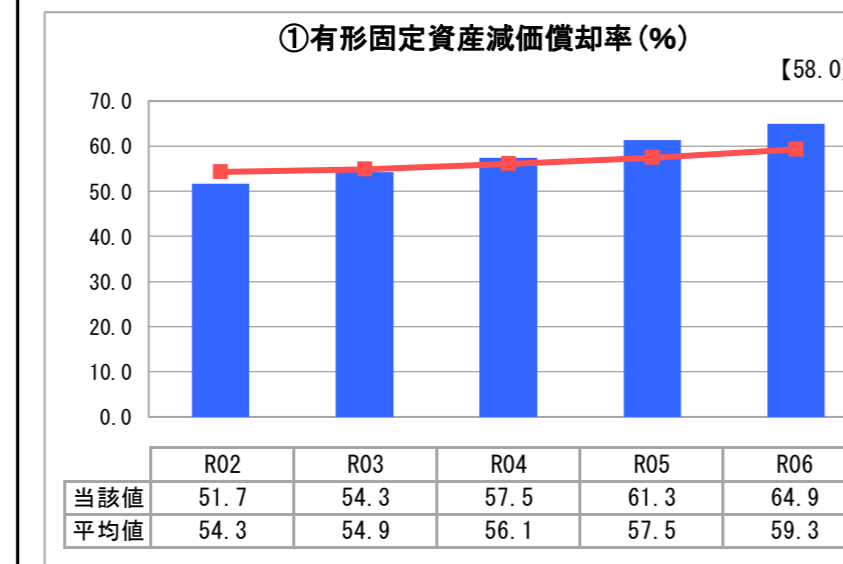
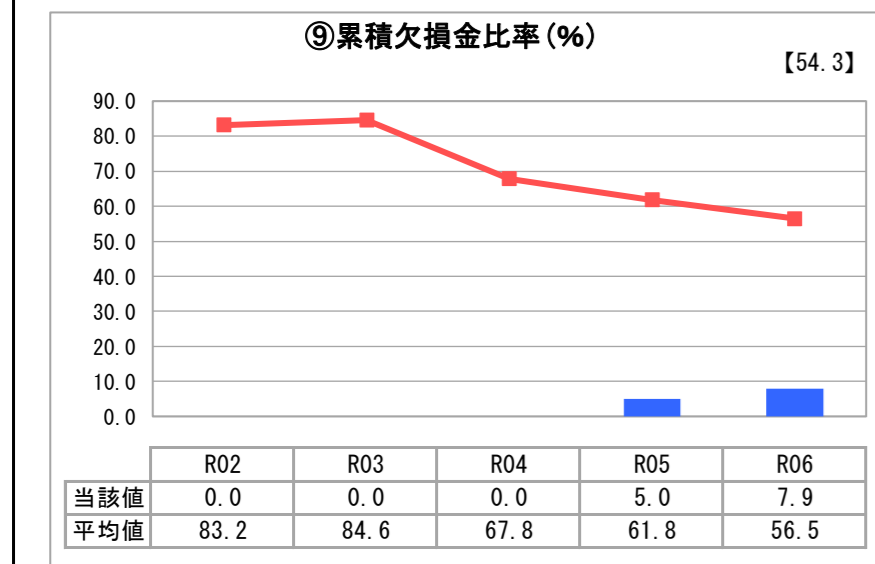
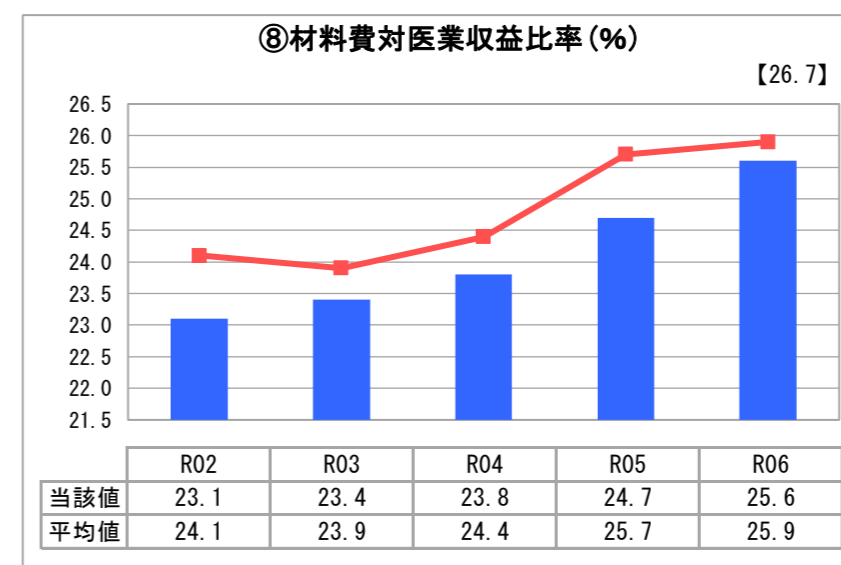
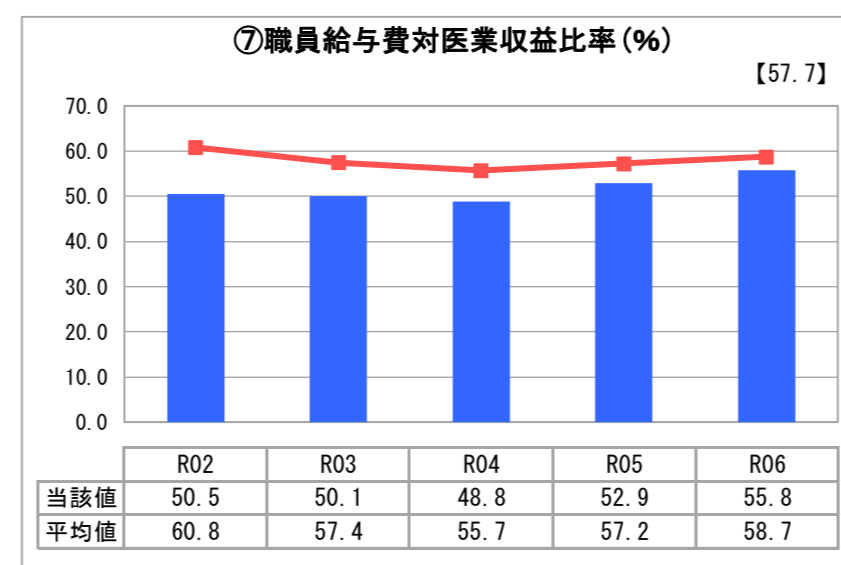
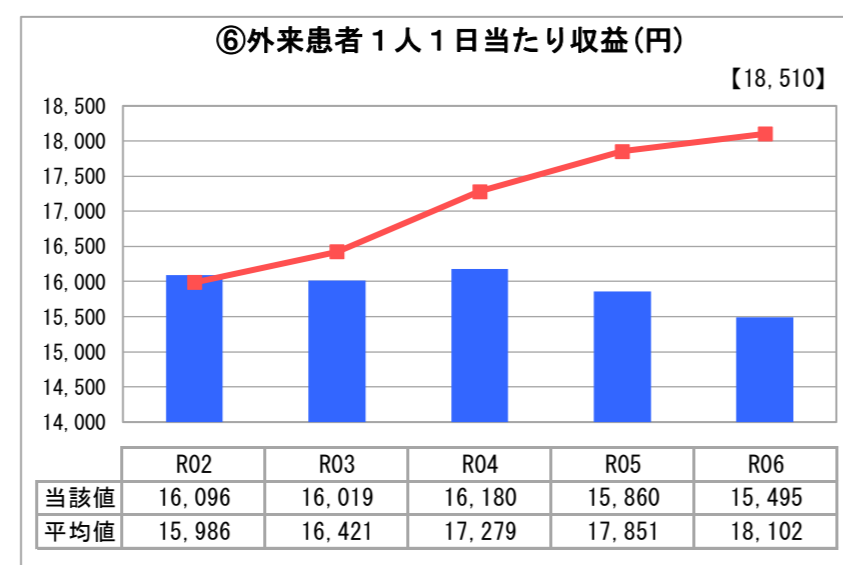
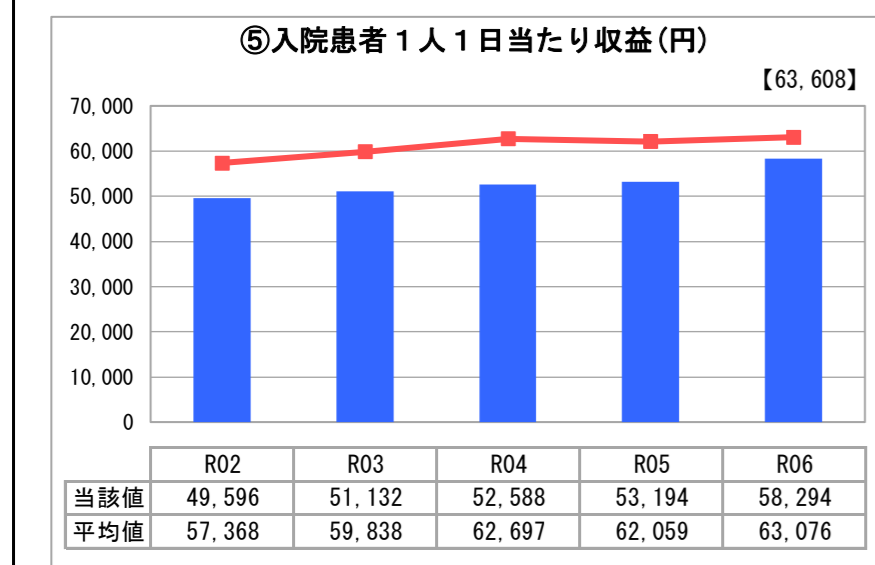
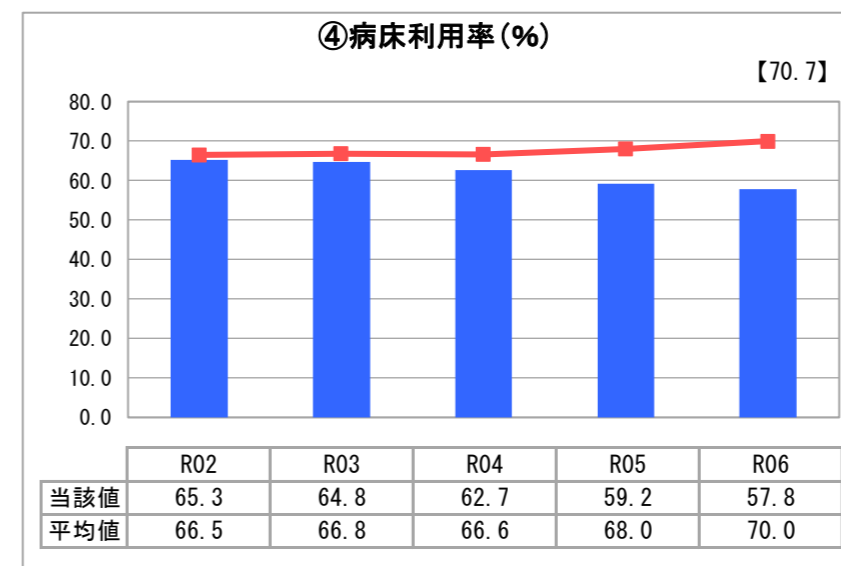
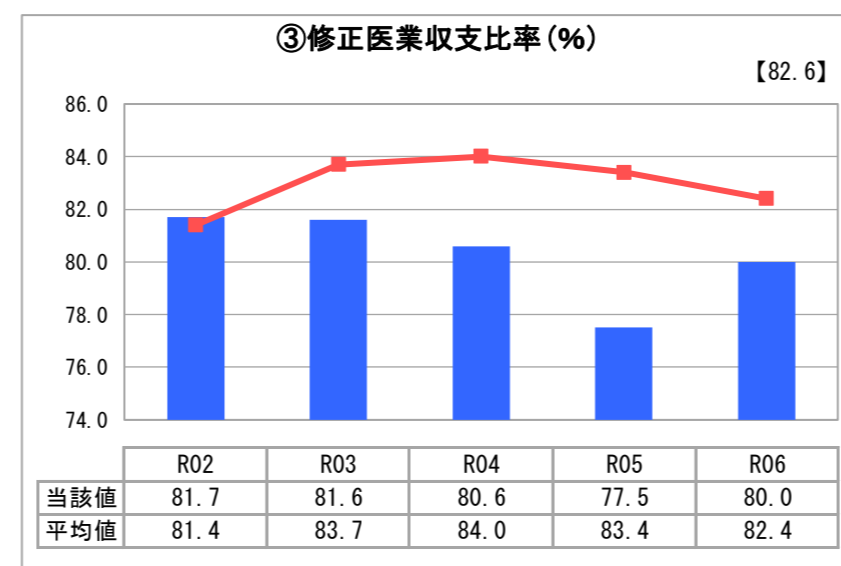
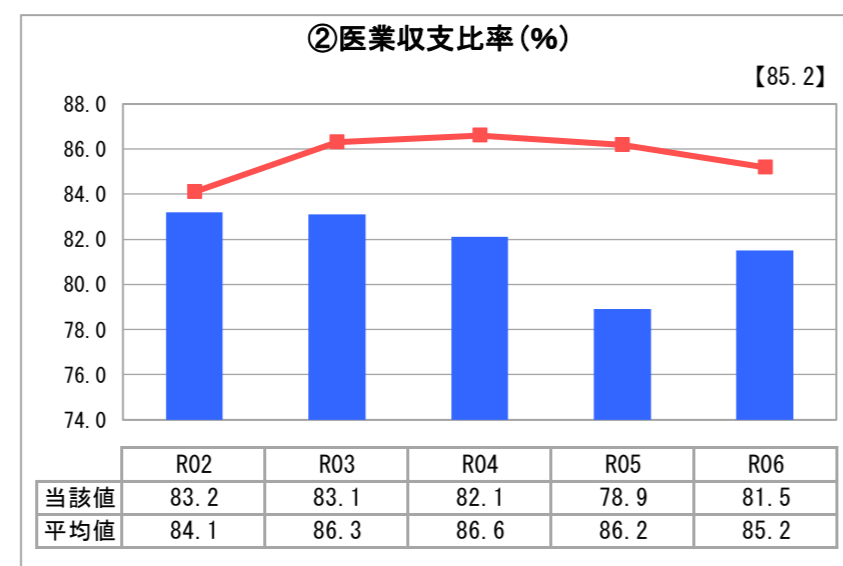
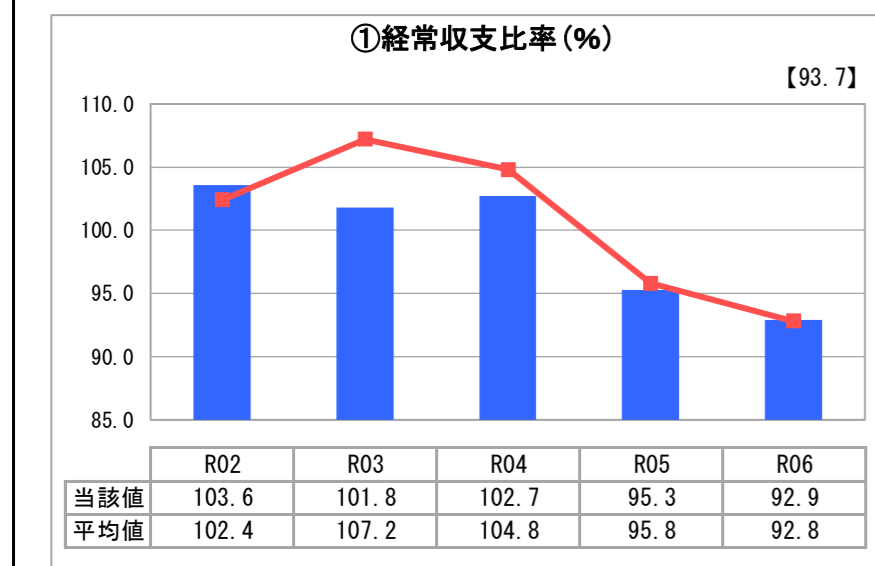
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
292	-	24
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	320
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
225	-	225

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度
	平成22	-
	年度	年度

I 地域において担っている役割

当院は、地域の中核病院としての役割及び県内唯一の第一種感染症指定医療機関、結核指定医療機関、エイズ治療中核拠点病院としての責務を担っている。
内視鏡センターや専門外来等を設け、地域の保健・医療・福祉機関との連携のもと多面的な診療機能を発揮している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・令和6年度は、①経常収支比率は、新型コロナ関連補助金の終了や人件費の増により100%を下回ったが、類似病院平均値と同水準となっている。②医業収支比率では、医業収益の増加により前年度を上回ったが、人件費上昇の影響もあり類似病院平均値を下回る水準となっている。
・④病床利用率は、コロナ専用病床の休床継続に伴い、類似病院平均値を下回る水準が続いている。
・⑤入院患者1人1日当たり収益については、DPCⅡ以内退院率の向上に取り組み、前年度を上回った。

2. 老朽化の状況について

減価償却率は増加傾向にあり、類似病院平均値より上回っている。
建物建設から20年以上が経過し、多くの施設設備や医療機器において経年劣化が進んでおり、故障や修理が増加しているが、経営状況により、投資に回せる資金確保が難しい状況が続いているため十分な更新投資ができていない。
今後、年数の経過と共にさらに老朽化が進行し、更新が必要な施設設備や医療機器の増加及び更新費用の増大が見込まれるが、中長期的な更新計画により、緊急度、優先度を精査した更新投資を行っていく。

全体総括

医業収益は前年度より増加しているものの、人件費の上昇や諸費用の増加に伴い、経常収支比率は100%を下回る状況であり厳しい局面が続いている。その中でも、地域の医療ニーズに応じた診療体制の充実を図り、医療の質の向上に努めるとともに、安定した患者の確保、病床利用率の向上、高い診療単価の維持による収益増と費用削減に取り組んでいく。
また、診療機能を維持していくため、老朽化が進んだ設備・機器の状態を把握し、緊急度、優先度の精査を行いながら、計画的な更新を進めていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。